

第6学年4組 学級活動（1）指導案

1. 日時・場所 平成30年6月13日（水）5時間目（13:35～14:20） 6年4組教室
2. 議題 「1年生とスマイルリング集会をしよう」
3. 議題について

学級目標

走りぬけ
～32人全員で～

（1）児童の実態

明るく活発で、素直な子どもたちが多い。学習意欲が高く、ペア学習やグループ学習にも手際よく取り組むことができる。係活動にも進んで取り組んでいる。どのようにしたら自分たちで楽しい活動をつくっていけるかよく考え、係用のコルクボードで紹介している。最高学年として臨んだ運動会では一人一人が全力で取り組んだことで、一生懸命活動することの楽しさを体験を通して学ぶことができた。課題としては、自分に自信がなく自分の考えを積極的に伝えることが苦手な点があげられる。最高学年として関わった運動会での成功体験を重ねていけるようにすることや、日々の生活の中で一人一人のよさを認めることで自己肯定感を伸ばし、自信をもって自分の考えを伝えていける子に育ててほしいと考えている。

（2）これまでの学級活動の取り組み

担任の学級への思いを児童に伝えると同時に、「こんなクラスにしたい」という思いを一人一人出し合い、学級目標について話し合った。「何事も全力で」「卒業がゴールではなくその先まで」「全員で1年間の様々なことを乗り越えていきたい」などの意見から学級目標を「走りぬけ ～32人全員で～」と決めた。

〔話し合い活動〕

第1回学級会では、「全員が全力で運動会に取り組み、運動会の大成功を祝いクラスで集会がしたい」という願いから、「運動会お疲れ集会をしよう」という議題で話し合った。初めての学級会ではあったが昨年度までの経験が生かされ、事前の準備は司会グループが中心となり自分たちで準備して、学級会を進めることができた。当日の話し合いでは、たくさんの児童に発言してほしいと思ったが、一部の児童の発言で進んでいき、最後まで自分の考えを伝えられない児童も数名いた。児童の振り返りからは、「自信がなく、意見を伝えることができなかった。」「今回は意見を伝えられなかったので、次回は自分の考えを伝えられるようにしたい。」など発言についての振り返りが多くみられた。また、全員がめあてを意識して話し合いをすることが難しく、時間内に折り合いをつけて決めることができなかった。

〔集会活動〕

自分たちで決めた集会を思いきり楽しむ姿が見られた。司会進行やはじめの言葉、プログラム作成などは、楽しい活動になるように工夫されていて、昨年度までの実践が生かされていた。集会活動後の振り返りでは、「初めての集会だったが、スムーズに進行できていた。」「32人全員が楽しめる集会だった。」「学級目標に近づけた。」など、満足感が伝わってくる内容が多かった。課題としては、「時間配分をもう少し意識した方がいいと思った。」「誰かが説明してくれているときのおしゃべりが減ればもっと遊びに時間が使えると思う。」など、次の集会を行う際に改善すべき点を、具体的に考えた内容が書かれていた。集会後には、子どもたちが自分で考えて主体的に活動し、32人全員で楽しむことができていたことを取り上げ、これからも自信をもって生活してほしいということ传达了。

(3) 議題選定の理由

6年生になり2か月が過ぎた。1年生とは4月の入学式での出会いから始まり、朝や休み時間に一緒に遊んだり、掃除の手伝いをしたりしてきた。交流を進めていく中で子どもたちより、「1年4組のみんなともっと仲よくしたい」「まだあまり話したことのない1年生と、もっと仲よくなりしたい」という意見が議題箱に複数寄せられた。そこには、「もっと“みんなで”1年生と関わっていけるようにしたい」という思いも込められていた。運動会での成功体験で最高学年としてさらに自覚が芽生えてきた今だからこそ、「1年生との交流」という目的を全員で共通意識をもって話し合い、実践することで、32人全員が学級目標に向かっていくことができると考え、本議題を選定した。

(4) 本実践で大切にしたいこと

本実践では、「1年生と一緒に楽しめる」ということを軸に話し合いが展開されると考えている。そのため、自分たちのことだけではなく、1年生という相手がいることを常に意識した話し合いが行われることを期待している。課題となるのは、全員が本気で話し合い活動に参加することができるかだと考える。そのため、議題や提案理由を発表する際に、この議題には提案者のどのような願いが込められているのか、この議題は全員が本当に話し合いたい議題なのかを丁寧に確認する時間を設ける。特に提案者の思いを大切に、全員が本気で「話し合いたい」という気持ちになれるよう支援していきたい。また、第2回目の学級会ということで、話し合いが滞ったり、めあてからそれたりした時には教師が適宜支援することを意識したい。

【具体的な姿】

- ・提案者の思いを全員が受け止め、本議題を話し合う必要感が高まっている。
- ・学級会ノートには、相手意識が込められている遊びを考え、理由が具体的である。
- ・話し合い活動中は、全員がめあてを意識し、本気で意見を伝えようとしている。

4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級や学校生活の充実と向上にかかわる問題に関心を持ち、他の児童と協力して自主的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために話し合い、自己の役割や責任、集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、信頼し、支え合って実践している。	みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの意義や学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の効率的な進め方などについて理解している。

5. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
5月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・議題箱に「1年生と一緒に集会を開きたい」という思いが寄せられる。 	<p>○クラスにとって本当に必要なことかを考えた提案を議題箱に入れられるように助言する。</p> <p>☆学級生活に関心を持ち、学級をよりよくしようとしている。</p> <p>(集団活動や生活への関心・意欲・態度)</p>
6月7日(木) 朝の時間 中休み	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員会で議題とめあて、学級会の進め方について確認する。 ・司会グループの中で、役割分担する。 	<p>○学級会の日時を伝える。</p> <p>○今回の学級会で大切にしていきたいことを計画委員会のメンバーで確認する。</p> <p>☆話合いの進め方や準備について理解している。</p> <p>(集団活動や生活についての知識・理解)</p>
6月8日(金) 朝の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・司会グループと提案者が、議題と提案理由、めあてを伝える。 	<p>○提案者の思いが伝わるように、提案者の考えを一緒に整理しておく。</p> <p>☆話し合う内容をわかりやすく伝えようとしている。</p> <p>(集団の一員としての思考・判断・実践)</p>
6月11日(月) 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・柱①についての自分の意見とその理由を学級会ノートに書く。 	<p>○めあてに沿った考えをもてるように声かけする。</p> <p>○意見に対する自分の考えを明確にしておくよう声かけする。</p> <p>☆学級会に向けて進んで準備しようとしている。</p> <p>(集団活動や生活への関心・意欲・態度)</p>
6月12日(火) 朝の時間 中休み	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員会を開き、学級会ノートを見て、柱①の意見を整理・分類する。 ・司会グループで学級会の流れや板書について確認する。 	<p>○話合いがどのような流れになるのかを予想し、話合いのイメージをもつことができるように声かけをする。</p> <p>☆学級会に向けて進んで準備しようとしている。</p> <p>(集団活動や生活についての関心・意欲・態度)</p>

(2) 本時の活動

①ねらい 自分の考えをもち、1年生とより仲が深まる集会の内容を話し合い、決定する。

②活動計画

児童の活動	支援 (○) と評価 (☆)
<p>1. はじめの言葉</p> <p>2. 司会グループの紹介</p> <p>3. 議題の確認</p> <p>議題</p> <p>「1年生とスマイルリング集会をしよう」</p> <p>4. 提案理由の確認</p> <p>提案理由</p> <p>「みんながもっと進んで1年生と関わるために、1年生との仲を深めることができる集会をしたいと思いこの提案をします。」</p> <p>5. めあての確認</p> <p>話し合いのめあて</p> <p>「1年生と6年生がみんなに関わって仲よくなれる集会にしよう」</p> <div data-bbox="204 1048 676 1200" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><ul style="list-style-type: none">・日時：6月22日（金）中休み・場所：体育館・行う遊びは1つ</div> <p>6. 話し合い</p> <p>話し合うこと①</p> <p>「もっと関わりが深まる遊びを決めよう」</p> <p>(何をするか)</p> <p>話し合うこと②</p> <p>「1年生との関わりが深まる遊びの工夫を考えよう。」</p> <p>(どのようにするか)</p> <p>7. 決まったことの確認</p> <p>8. ふり返り</p> <p>9. 先生の話</p> <p>10. 終わりの言葉</p>	<p>○座席は、コの字型にして、互いの顔を見ながら話し合いが行えるようにする。</p> <p>○提案者がどのような思いで本議題を提案したのかを、クラス全員が理解できるように確認しておく。</p> <p>○話し合いのめあてをもう一度確認し、めあてに沿った意見を出せるようにする。</p> <p>○自分の考えと理由をきちんと伝えるよう声をかける。</p> <p>○できるだけ自分たちで決定できるように見守り、話し合いが行き詰まったり、話し合いのめあてからそれたりした場合は助言する。</p> <p>☆計画委員として司会や記録などの役割を果たしている。</p> <p>☆友達の意見を認めたり、うなずきながら聞いたりして、みんなが楽しめる活動を考えている。</p> <p style="text-align: center;">(集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○今日の話合いのよかったところ、実践に向けての意欲など、自分の思いをふり返ることができるように声をかける。</p> <p>☆みんなで決めたことを実践することに向けて期待を抱いている。(集団活動や生活への関心・意欲・態度)</p> <p>○計画委員のがんばっていた点、めあてを意識した発言、根拠のある意見などを褒め、次の学級会への期待をもてるようにする。</p>

③板書計画

<p>○ ○ ○</p> <p>○ 手つなぎおに ○ 猛獣狩り ○ ふえおに ○ じゃんけん列車 ○ 進化ゲーム</p> <p>話し合うこと② 「一年生との関わりが深まる遊びの工夫を考えよう。(どのようにするか)」</p>	<p>話し合うこと① 「もっと関わりが深まる遊びを決めよう」(何をするか)</p> <p>話し合いのめあて 「一年生と六年生が今よりもっと関わりが深まる集会にしよう」</p> <p>話し合いのめあて 「一年生と六年生が今よりもっと関わりが深まる集会にしよう」</p> <p>提案理由 「みんながもっと進んで一年生と関わるために、一年生との仲を深めることができる集会をしたいと思いいこの提案をします。」</p> <p>議題 「一年生とスマイルリング集会をしよう」</p> <p>提案理由 「みんながもっと進んで一年生と関わるために、一年生との仲を深めることができる集会をしたいと思いいこの提案をします。」</p>	<p>第二回 学級会</p>
---	---	----------------

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
6月15日(金) 帰りの会	・役割分担をする。	○これまでの経験を生かし、必要な役割を考えて全員で分担できるようにする。 ☆それぞれの役割の必要な人数を考えたり、みんなと協力したりしながら決めている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月18日(月)～ 休み時間	・会の準備をする。	○みんなで協力して準備が進められるように声かけする。 ☆役割分担に基づいて、集会に向けて協力して準備を進めている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月22日(金) 集会活動	・「スマイルリング集会」を行う。	○めあてを意識して取り組むよう声をかける。 ○自分たちで考え、実践できたと実感できるようにする。 ☆何のための集会なのかを理解し、友達と協力して活動している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月25日(月)	・実践のふり返りを学級会ノートに書く。	○話し合いから実践までをふり返し、よかったところ、改善したいところを書くように伝える。 ○今回のふり返りを、次にどのように生かしていきたいかも書くように助言する。 ☆活動に対する自分の取り組みや、学級全体としての取り組みをふり返し、みんなで集会をつくる意義を理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)